日本大・医　ⅠAⅡBⅢC

				2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014予想
数学B	数列	53	等差・等比数列											
		54	いろいろな数列						○1					
		55	数学的帰納法											
		56	漸化式				◎3連立					○1		
		57	確率と漸化式											
		58	数列の応用											
	ベクトル	59	成分											
		60	内積						○1	○1				
		64	平面ベクトルと図形							◎3	◎3			△
		62	ベクトル方程式											
		63	空間座標・図形											
		64	空間ベクトルの内積											
		65	空間ベクトルと図形		◎1		◎1					◎4	○1	△
		66	空間ベクトル方程式											
数学Ⅲ	関数と極限	67	分数・無理関数											
		68	数列の極限			◎3							◎4	
		69	漸化式と極限					◎2						
		70	無限級数	◎2					◎3		◎4			
		71	関数の極限							◎2	○1		◎3	
	微分	72	微分係数・導関数							○1				
		73	曲線の接線・法線						◎3		◎2	◎2		△
		74	関数の増減・凹凸											
		75	Mm				◎1	◎3						
		76	方・不等式への応用										◎4	
		77	速度・加速度											
	積分	78	積分の計算	○1三	◎3三	◎2三角		◎3		○1三角		○1対数		△
		79	定積分で表された関数		◎3									
		80	定積分とMm											
		81	定積分と等式・不等式											
		82	定積分と数列											
		83	区分求積法		◎4									
		84	面積				◎4			◎2	◎2	◎2	◎3	△
		85	体積				◎4回	◎4回転体						
		86	曲線の長さ											
		87	微分方程式											
数学C	行列	88	行列の計算											
		89	逆行列	○1										
		90	行列のn乗			◎3						○1		
		91	点の移動・回転								○1一次変換			
	式と曲線	92	放物線											
		93	楕円					◎3		○1				
		94	双曲線										○1	
		95	2次曲線と直線											
		96	媒介変数表示											
		97	極座標と極方程式					◎3						
	確率分布	98	条件付き確率と乗法定理											
		99	二項分布											

＊ 2014予想：2009年以降出題形式は一定している
数Ⅰの正弦・余弦定理，平面図形への応用は頻出
数Aの確率の計算は頻出
数Ⅱは指数対数か，放物線と直線・円と直線であろう
数Bは平面ベクトル・空間ベクトルと図形の問題であろう
数Ⅲからは積分の接線・法線，面積が頻出である